



家族に感謝、職場に感謝

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル  
会長 松本 哲朗 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号丸越ビル6F  
幹事 杉本 忠夫 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008  
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

インスピレーションになろう

<2018-19年度R.I.テーマ>  
R.I.会長 パリー・ラシン

第1696回例会

職業奉仕月間

平成31年1月17日(木)

年男年頭所見

於 名古屋東急ホテル

会員 55名

出席計算数

46名中33名出席

出席率 71・74%

前々回出席率 100%

例年プログラム

★米山記念奨学会表彰状の進呈

★渡辺国際奉仕委員長

・地区補助金事業活動報告

「ロータリー国際理解教室」

★鬼頭社会奉仕委員長

・社会奉仕委員会報告

「献血協力のお祝い」

★年男年頭所見

ロータリーソング

「奉仕の理想」

指揮者 岡村 隆徳

ピアノ伴奏 富板 玲子

ニコソックス

吉田隆彦さん、高木政義さん、年男年頭所見よろしくお願ひします。

松本 哲朗

吉田隆彦さん、高木政義さん、今日は卓話よろしくお願ひします。

杉本 忠夫・岡村 隆徳

稀勢の里の引退、残念ですね!!

春日井和良

本日、年男としての卓話をさせて

会長挨拶

「南極大陸(1)」

松本 哲朗

地球にはユーラシア大陸、アフリカ大陸、北米、南米の大陸、オーストラリア大陸と南極大陸の6大陸があります。普段目にする四角い世界地図では、南極大陸は一番下に横長に書かれていて、大きさも形もよく分かりません。

面積が1,400万km<sup>2</sup>あり、オーストラリア大陸の760万km<sup>2</sup>の約2倍で5番目に大きな大陸です。形はほぼ子午線で分かれ、半円状の東南極とほぼ円形の西南極に分かれます。平均2,000mの厚さの氷で覆われ、標高も2,000mを超え大陸の中では一番高い標高になっています。また4,000m級の山がいくつもあります。

平均気温が、夏は30度、冬は60度、観測された最低気温は-89度でした。降水量は年間200mmと極端に少なく、風



はやたら強いのです。

地球上の真水の70%、また氷の90%が南極にあります。

北極と南極とでは温度差が20度ほどありますが、北極は海なので温度がそこまですぐ下がらないことと、南極は標高が高く気温が低いという2つの理由があります。

年男年頭所見

吉田 隆彦

今年は何回目の年男、なんと来月で満72歳になります。平成と新年号の節目にあたります。以前還暦を迎えた時、ロータリーの例会で一回り上の先輩をみて、なんと年寄りかと思っていたのに、あつという間にわが身となりました。健康保持とは思いませんが、この10年以上、毎週1,000メートル泳いでいます。また冬場はスキー、高校からですから約56年、下手なゴルフは大学入学時から約54年となります。

また、ボケ防止に海外旅行に出かけています。1968年、大学4年でヨーロッパ12ヶ国を旅したのを皮切りに、今まで85回の海外旅行を重ねました。この中にはロータリーの国際大会も15回以上含んでいます。ほとんどの旅が個人でホテル、飛行機、電車等を直接手配し、世界の美術館を巡り、オペラ、ミュージカル、バレエ、コンサ

Rotary Club of Nagoya Osu



ート、レストラン等を予約し、楽しんでいきます。

この数年は毎年、楽な船旅に出ています。次回は7回目の年男、84歳です。それまで、さらに人生を楽しみたいものです。今後ともよろしくお願ひします。

年男年頭所見

高木 政義

昨年来、今は私の転換期ではないかと考えています。これまでの仕事をみますと、30代40代が第1期そして50代60代が第2期となります。

第1期は会計監査を中心とした仕事でした。監査法人に勤務した時期です。戦後公認会計士による監査制度がスタートし、その後大きな粉飾事件を契機に法人の設立



が進みました。

その頃仲間が、家庭内で「お父さんどんな仕事してるの?」と聞かれると言っていました。NHKの連続ドラマ「監査法人」です。馴染みの無いテーマですが注目され再放送、DVD発売となりました。ドラマですから主人公の公認会計士がカッコいい。これでお父さんの存在感がアップしました。

会社の財務諸表に添付される監査報告書が監査結果の具体的なものです。当初は「有価証券報告書」に入るもののみで、一般人には遠い世界でした。ところが最近「有価証券報告書」が身近なものとなりました。昨年11月、日産自動車株のカルロス・ゴーン氏が「有価証券報告書」虚偽記載、金融商品取引法違反で逮捕されました。以前は紙媒体でしか入手でき

なかった報告書もインターネットで見ることができるようになりました。今後はあのニュースの「有価証券報告書」ですよ、と言えは理解されます。

30代はかなり頑張っていました。40代も後半となると閉塞感のよつなものが漂って来ました。そこで監査法人を出て事務所を開設することにしました。49歳税理士登録。車で関与先へ行くときは自由を感じたものです。第2期は税務業務のウエイトが高くなりました。当然ですが仕事環境はガラリと変わりました。例えば金額の単位です。税務では単単位が基本、こんなことも案外気になりました。60代後半頃からは、新たな仕事は避けるようになりました。どちらかといえば業務縮小方向です。そんな流れの中でこれからは第3期となる予感がしています。活力、体力の低下を実感しながら関心が持てる熱中できることが定まらな



**米山記念奨学会表彰状の進呈**

- 第2回 米山功労者 (マルチフル) 近藤 明美さん
- 第1回 米山功労者 春日井和良さん



**地区補助金事業活動報告 「ミヤンマー」難民孤児**

ロータリー国際理解教室 国際奉仕委員長 渡辺 観永  
平成30年12月26日、「ミヤンマー」内戦孤児をまもるために」と題して、国際理解教室を開催しました。当



クラブは今年度平和維持を目的とした国際奉仕活動として、ミヤンマー国マンダレーのシユエグ二

孤児院を支援していますが、今回の企画はその日本国内向け事業として実施しました。会場となった豊明市の名古屋石田学園星城中学校には、70名の中学生と学園関係者、公益財団法人PHD協会、ミヤンマーからの米山奨学生、RYLA研修を受けた学生達、そしてロータリアンが集い、スクリーンに映し出されるミヤンマーの「現実」を見つめました。

基調講演として、PHD協会 坂西卓郎事務局長が、子ども達を取り巻く環境について語り、それをつけて、ミヤンマーからの米山奨学生サンダーモーさんが、シユエグ二孤児院の子ども達かどのよう

に保護されているかを話してくれました。



そのあと、中学生が6グループに分かれて、「孤児の未来をどうするか」と題して、パネルディスカッションを行いました。

ファシリテーターは京都大学、愛知教育大学などのRYLA受講生が務め、ロータリアンの助言を受けながら意見をまとめていきました。

今回のディスカッションは、わざと時間を短くし、各自の意見をファシリテーターが引き出しながら、難しいテーマに対して通常では考えられない時、突破するための智慧の重要性を指摘すると共に、あきらめずに考え、行動を判断をしなければならぬ勇気を伝えました。各グループの発表は、学生ならではのユニークなものも多く、会場は大いに盛り上がりました。最後に当クラブが実施している孤児院での食堂建設、水タンクの設置などを映像で紹介し、「今はこれだけしか出来なくとも、ここから大きな平和が生まれる可能性が







●ホストファミリー

12月も終わりのころ、遅まきながら、初めてのホストチェンジを経験しました。12月の終わりに予定されていただけあり、想像以上に忙しい、まさに師走という感じでした。今回はホストチェンジとクリスマスなどについて、書いておきます。



とても凝っていて素晴らしいかったです。なによりとても楽しかったです。

■派遣青少年交換生 報告

「マンズリーレポート 12月」

青少年交換生 中野 愛

もう年も明けてしまいましたが、いかがお過ごしでしょうか。冬も本格的になるこの時期、お体に気を付けてお過ごしください。

ホストチェンジは12月27日にしました。まさか、自分の誕生日にホストチェンジをするとは思っていませんでしたが、そこが第一ホストと第二ホストの予定が合わなかったため、その日になりました。ただ、ホストチェンジの日程が決まったのは12月に入ってからだったので心の準備ができません。ホストチェンジになってしまった。しかも12月の初旬には学校の期末テストにあたる、ファイナルもあったため、とてもいそがしかったです。それでも何とか荷物をまとめ、ホストチェンジは終わったのですが、あまりにたくさんの方があったので、かなり疲れました。

私のホストファミリーには姉がいたのですが、彼女が着られなくなったお洋服をもらったり、買い物好きな友人としょっちゅう買い物に行ったりしているのだから、その服やアクセサリーがあります。それらをまとめてみてあまりの多さに呆然…日本に持って帰れるか



すごく不安です。

クリスマスはとても盛大に祝いました。ダウンタウンのリバーオークのボートに乗って街を一周したり、24日には教会にも行きました。リバーオークにはクリスマスのイルミネーションがとてもきれいに飾られていました。その下を船に乗って通るのはとても楽しかったです。

この船の周遊、特にクリスマスシーズンはとても人気で、ホストファミリーが三か月前から予約してくれていたようです。実際の船の乗り場はどこも休日のディスプレイのランドのアトラクション並に大行列でした。  
24日には、クリスマスの家族パーティーがありました。たくさんのおいしい食事とプレゼント交換

は楽しかったです。また、その量に驚きました。

25日の朝(正確には深夜ですが)には、子供たちお持ちかねサンタクロースがきました。私の家族には小学五年生の弟がいるのですが、彼はまだサンタクロースを信じていてかわいかったです。私にも来て、嬉しかったです。アメリカのサンタはとてもふとっぽうでした。家庭にもよると思いますが、頼んだものが送られてくるかと思っていたら、ネックレスや、ピアスやカバン、キンドル、バスローブ、大量のお菓子、その他たくさんだったのでびっくりしました。嬉しかったです。他にも、私のバースデーパーティーを友達を呼んで開いたり、となかなか盛沢山な一か月でした。



●学校

学校では合唱のクラスでキャロリングに行きました。キャロリングでは、アラモハイツの学区に住んでいる人の家に行つてクリスマスソングを歌います。中にはパーティーをしてくれて私たちにもキャロニングやケーキ、ホットチョコレートを振舞ってくれるお家もあって、楽しかったです。たくさんの方が喜んでくれたのでやりがいがありました。そしてキャロリングの後はみんなでパーティーをしました。途中で一人の男の子がプールに飛び込んでいて、アメリカ人など思いました。

1月31日(木)例会の案内

卓話 「花粉症のお話」  
藤田医科大学耳鼻咽喉科 教授 内藤 健晴さん

2月7日(木)例会の案内

例会参事 2月3日(日) 節例会(贈場例会)

11時30分 受付  
12時30分 開始  
於 大須観音本堂下会議室

公共イメージ向上委員会

- 前田 隆久・杉浦 令淑
- 川畑 博敬・竹林 正人
- \*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。